

(仮称) 愛子土地区画整理事業に係る
環境影響評価方法書について(答申)(案)に対する事前意見

No.	意見者	意見内容
1	山崎委員	<p>1 全体事項</p> <p>(1)</p> <p>意見：平日、休日の考慮についても指摘していたため、以下のように修正を提案する。</p> <p>原案：計画地を横断する国道48号の交通量については、天候や季節による変動に留意しながら、現況の交通量を調査し、供用後の交通量を予測するとともに、その結果を踏まえ、適切に交差点改良等の渋滞対策を検討するよう求めるべきである。</p> <p>修正案：計画地を横断する国道48号の交通量については、<u>天候・季節・曜日</u>による変動に留意しながら、現況の交通量を調査し、供用後の交通量を予測するとともに、その結果を踏まえ、適切に交差点改良等の渋滞対策を検討するよう求めるべきである。</p>
2	山田委員	<p>2 個別事項</p> <p>(水環境)</p> <p>(2)</p> <p>意見：表現について、以下のように修正を提案する。</p> <p>原案：工事に伴う濁水の影響について、降雨量が異なる時期に複数回調査するなど、より濁水が生じる可能性がある条件を把握するとともに、その結果を踏まえ、仮設沈砂池を適切に計画・設計・管理し、濁水の流出を防止するよう求めるべきである。</p> <p>修正案：工事に伴う濁水の影響について、降雨量が異なる時期に複数回調査するなど、より濁水が生じる可能性がある条件<u>での影響</u>を把握するとともに、その結果を踏まえ、仮設沈砂池を適切に計画・設計・管理し、濁水の流出を防止するよう求めるべきである。</p>
3	牧委員	<p>2 個別事項</p> <p>(植物、動物及び生態系)</p> <p>(6)</p> <p>意見：植物についても、指摘していたため、以下のように修正を提案する。</p> <p>原案：斎勝川に生息する鳥類や両生類、昆虫類等への影響について、調査範囲を下流域まで広げた上で、予測・評価するよう求めるべきである。また、両生類や昆虫類の活動が始まる早春季を調査時期に追加するよう求めるべきである。</p> <p>修正案：斎勝川に生息・<u>生育する動植物</u>への影響について、調査範囲を下流域まで広げた上で、予測・評価するよう求めるべきである。また、両生類や昆虫類の活動が始まる早春季を調査時期に追加するよう求めるべきである。</p>